

## 【議事概要】

### 小坂文部科学大臣と米航空宇宙局（NASA）グリフィン長官との会談結果について

文科省の渡辺正実 宇宙国際協力企画官が、資料 16-1 の最初のページだけを説明した。（参考）と示された 2～4 ページは、JAXA のプレスリリースである。説明の後、井口委員長からのコメントがあった。

井口：新聞テレビで既に存じ上げている。（会談の成果は）結構なことである。（その後取って付けたように）小坂大臣には遠くまで足を運んでいただき、感謝申し上げたい。

（これで次の議事に移ってしまった。）

第 15 回の定例会議で、松尾委員は「月と火星は一緒にとは考えなくても良い」と発言していた。

今回の会談の第 3 項目はまさにこの話題であった。文章が変なので、日米どちらの意見なのかははっきりしないが、「NASA には月や火星探査においても日本と協力していきたいとの意向があることを確認した。」と言っているようである。

これに対しどう反応したのかが判らない文章であるが。否定はしなかったことが伺われる。

これは前回の松尾委員の意見とは一致しない考え方である。どうして松尾委員は今回も重ねて発言しなかったのであろう

か。

この件について国内の意見が収束していないのであれば、国際的な場での発言は注意深くなければいけない。信用を失うことにつながる。